

(12) 沖縄



沖縄地域では、景気は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある。

- ・ 観光は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。
- ・ 個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。
- ・ 雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、一段と弱さが増している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)

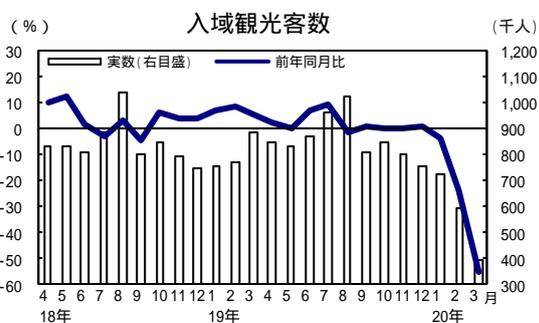
前回からの主要変更点

	前回(令和2年3月)	今回(令和2年5月)
景況判断	足もとでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、景況感が急速に厳しい状況になるなど、弱い動きみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある
観光	新型コロナウイルス感染症による影響があり、一段と弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している
個人消費	足もとでは、新型コロナウイルス感染症による影響があり、弱含んでいる	新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している
雇用情勢	改善	新型コロナウイルス感染症の影響により、一段と弱さが増している

1. 観光の動向

観光は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。

1 - 3月期の入域観光客数は、外国客を中心に、1月より、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う中国からの団体旅行の減少等により前年を下回り、2月以降も、航空路線の減便やクルーズ船寄港回数の減少等によって、前年を大きく下回った。1 - 3月期のホテル稼働率も、前年同期を大きく下回った。



入域観光客数等の動向

	2019年 7-9月	2019年 10-12月	2020年 1-3月	2020年 3月
入域観光客数(千人)	2,794	2,406	1,715	396.3
(前年比、%)	2.6	0.6	28.8	55.2
ホテル稼働率(%)	80.6	73.2	58.8	39.8
(前年差、%pt)	4.6	4.3	19.8	41.1

- (備考) 1. 入域観光客数は沖縄県観光政策課調べ。
2. ホテル稼働率は日本銀行那覇支店調べ。
3. ホテル稼働率の前年差については、内閣府にて算出。

2. 個人消費の動向

個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、急速に減少している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

1月は前月比0.4%増、2月は同0.2%減、3月は同2.1%増となった。

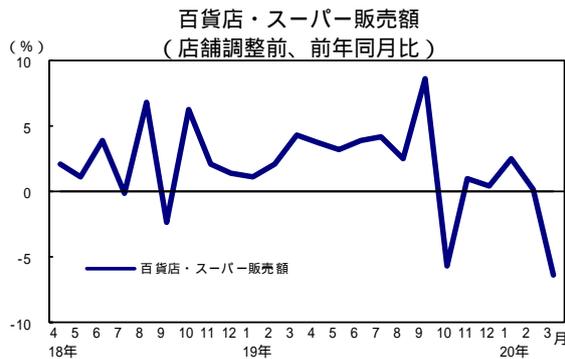
(2) 百貨店・スーパー販売額

1月は、衣料品等は減少したものの、食料品が増加したことにより、前年を上回った。

2月は、衣料品等は減少したものの、食料品が増加したことにより、前年を上回った。

3月は、食料品は増加したものの、衣料品等が減少したことにより、前年を下回った。

4月は、休業や営業時間の短縮を実施した店舗がみられた。



	2020年1-3月	2020年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	2.6	0.4	0.2	2.1
百貨店・スーパー(*2)	1.3	2.6	0.2	6.4
コンビニ(*2)	6.0	7.9	9.9	0.7
乗用車(*3)	9.3	11.3	0.1	14.9
(季節調整値)(*3)	3.9	4.6	10.4	11.5

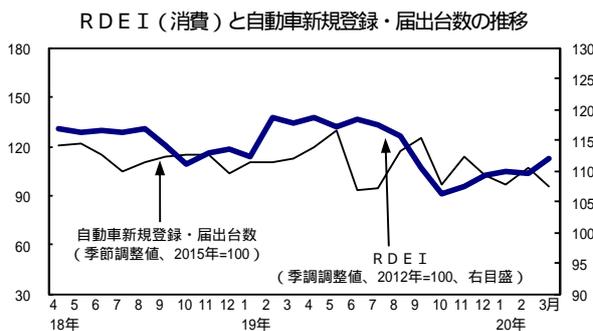
(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 前年同期(月)比 (%)

百貨店・スーパーは経済産業省調べ(店舗調整前)

コンビニは日本銀行那覇支店調べ

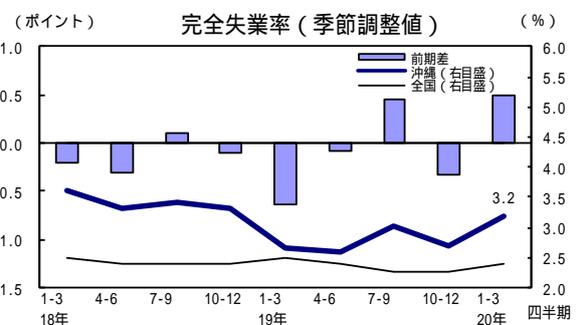
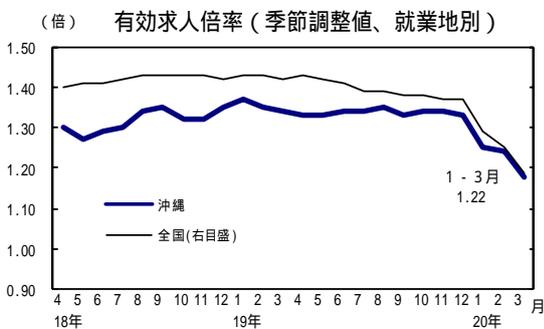
3. 乗用車は、乗用車新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比 (%))



3. 雇用情勢

雇用情勢は新型コロナウイルス感染症の影響により、一段と弱さが増している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。



(備考) 沖縄県「労働力調査」の月次値を、内閣府にて四半期平均化。

(13) 景気ウォッチャー調査 (令和2年4月調査) 景気判断理由の概要

12. 沖縄

(良、 やや良、 不変、 やや悪、 ×悪)

分野		判断	判断の理由	
現状	家計動向関連	×	<ul style="list-style-type: none"> ・県の新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言の発令に伴い、人の動きを始めとして来客数の減少により売上ダウンにつながっている (コンビニ) ・新型コロナウイルスの影響で、この先が見通せないため投資案件や住宅建築を手控える客が出ている (住宅販売会社) ・客数は前年より少し減っているが、新型コロナウイルス禍の影響により1人当たりの買上点数が増えているため、売上は前年を大きく上回っている (スーパー) 	
	企業動向関連	×	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、工事予定が保留又は延期により公共工事、民間工事共に前年比減となっている (窯業・土石製品製造業) ・新型コロナウイルスの影響で観光関連取引先、業務用取引先の売上高は過去に類のない落ち込み様である。スーパーへの売上は巣籠り消費の影響で家庭向け需要増により増加している (食料品製造業) ・新築の契約は止まったままだが、リフォームの引き合い、契約が増えている (建設業) 	
	雇用関連	×	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用調整助成金の相談件数が、日を追うごとに増加している。企業からの求人取下げも増加している (職業安定所) 	
	その他の特徴コメント			<ul style="list-style-type: none"> ×：月前半は営業時間を短縮しながらも全館営業していたが、後半は全国を対象とした緊急事態宣言により、食品フロア以外は休業となっている (百貨店) ×：新型コロナウイルスの影響が徐々に始め、4月初めには売上前年比90%ダウンと急激な入客減少、県内の感染者の急増により、スタッフと客の感染拡大防止のため、4月上旬より臨時休業に入っている (その他飲食 [居酒屋])
	その他の特徴コメント			
先行き	家計動向関連	×	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で危機になっていくのは、これからだとみている (衣料品専門店) ・新型コロナウイルスの感染状況や緊急事態宣言の期間によるが、終息したとしても景気が回復しない限り、観光関連の需要はすぐには大きく見込めない (その他サービス [レンタカー]) 	
	企業動向関連	×	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、県内企業の販促活動は大幅に減速している。回復するめどは立たずに先行きは不透明である (広告代理店) ・緊急事態宣言が延長され、景気は継続して落ち込んでいくものとみられる (輸送業) 	
	雇用関連	×	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの終息の予想がつかず、自粛が更に続くことこれ以上に悪化する (人材派遣会社) 	
	その他の特徴コメント			<ul style="list-style-type: none"> ×：商店街には、現在流行している新型コロナウイルスが落ち着いたなければ苦しい小売店が多く、大変な危機的状況下にある。早期の終息を願いたい (商店街) ×：5月は完全クローズで営業日はない。6月以降再開予定だが、現段階の感染状況等を考えるとまだまだ先がみえない状況である。営業が再開できても客室稼働率が上がることが見込まれない。今まで経験したことがない壊滅的な状況である (観光型ホテル)
	その他の特徴コメント			

(D I) 現状・先行き判断 D I (沖縄) の推移 (季節調整値)

